

平成26年度 第16回政策推進会議報告

日 時 11月5日 9時30分～10時3分

場 所 4-1会議室

出席者 17人

1 後期高齢者医療事務 全項目評価書(素案)に対する市民意見公募手続の実施について

市民協働局長から資料に基づき報告。

2 介護保険事務 全項目評価書(素案)に対する市民意見公募手続の実施について

健康福祉局長から資料に基づき報告。

4 児童手当事務 全項目評価書(素案)に対する市民意見公募手続の実施について

こども青少年局長から資料に基づき報告。

3 居宅介護支援及び地域包括支援センター等の運営基準等(素案)に対する市民公募手続の結果について

健康福祉局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長)素案については意見がなかったが、関係者との意見交換等では意見がでたか。

人員が不足しているので増員を図ってほしいという意見があった。素案については、内容が他の自治体と概ね変わらず、また、増員するという内容だったため、パブリックコメントで意見が出なかったのではと思う。

(市長)介護保険制度の改正に伴い、介護予防について自治体や地域の取組に対する期待が非常に高まっていく。地域包括支援センターの役割も大きくなり、そういった意味での増員であるので、人員だけでなく業務の質も向上するように中身を作っていく。

5 就学前の教育・保育のあり方の策定及びその素案に対する市民意見公募手続の実施について

教育長から資料に基づき報告。

(市長)子ども・子育て支援新制度もいよいよ来年度のスタートを間近に控えている。国では量的な拡大や制度上の質の向上が中核に据えられている中、尼崎市独自の取組として、「就学前の教育・保育のあり方検討部会」を設置し、非常にタイトなスケジュールの中、ここまで鋭意進めていただいた。本市では、待機児童対策等も当然進めていくが、他都市に比べると相対的にそこだけが課題というわけでもない。今回、就学前の教育・保育のあり方を策定するにあたり、官民幼保の区別を超えて、就学前と就学後との連続をスムーズにしていくことや、発達障害等の不安をお持ちの方が増えている中、そういった個別の支援をつないでいくことに取り組んでいく。また、就学前の自己肯定感の大切さや遊びを通してのあと伸びする

力の大切さを保護者にも共有していただき、大人の態度や接し方が子どもたちに大きな影響を与えるという認識のもと、自分たちの行動を振り返るきっかけにもしていきたい。次はまた、わかりやすいパンフレット作り等の取組を進めていく。子どもの育ち支援条例という尼崎市独自の政策条例を具体化していくために、就学前の教育・保育のあり方をまとめていただいた。今後、このあり方をまた具体化するために、共通の研修項目や施設を超えての具体的な取組に落とし込んでいくべく、引き続き頑張ってやっていきたい。

6 その他

- ・企画財政局長から、維新の会の会派要望について通知。
- ・総務局企画管理課長から、尼崎のまちの魅力を紹介するポータルページ（入り口ページ）の作成について説明。
(市長)市報あまがさきに記事を掲載してほしいという希望が多いが、紙面にも限りがあり、また月1回発行という制限もあるため、ウェブを中心に、読み物的なものからタイムリーな情報までお届けできる体制へシフトしていくことが必要な時代かと思う。各局がそれぞれいろいろな情報発信をしているが、ポータルページではそれを一覧にしているので、職員もそこからネタを仕入れて尼崎市の魅力をよりプロモーションして行ってほしい。気づいたものをうまく編集していくという構造になっており、全ての情報を網羅しているわけではないが、各局でお気づきの点があればその都度ご意見をいただきたい。また、時代の変化に伴うデータ変更についても、気づいた時点でフィードバックをいただくとありがたい。新しいサイトを作ったわけではなく、すでにホームページにある情報を集約したページを作ったというものだ。
- ・ポータルページの内容は非常に良いと思うが、市のトップページからポータルページに入るボタンがわかりにくい。初めて尼崎市のホームページを見た人が、このボタンを押してみようという気になりにくいのではないか。ポータルページが何なのかというイメージもつかず、もったいないように感じる。
工夫していきたい。
- ・都市整備局長から、花のまちあまがさきチューリップ運動について説明。

以 上